



いつも地域と共に

高齢者や子どもと地域の伝統文化を大切にしながら、物価高対策を積極的に進め、皆さまの生活と安全を守ります。

令和5年3・9月議会報告

定例会において、以下の質問を行いました。

■ 高齢者の認知症について

<山越 質問> 認知症の症状として徘徊があるが、高齢者が徘徊して行方不明になった場合の市の対応は。

<市長 答弁> 行方不明の恐れがある高齢者に対し、事前登録やGPS貸与、警察との連携などで早期発見体制を整備し、今後も認知症サポーター養成や関係機関との連携強化により地域の見守り体制を充実させていきます。

■ 地域伝統文化の保護について

<山越 質問> 有形民俗文化財「波志江の屋台」は地域にとって重要な伝統文化であり、その保護・継承や祭りへの補助制度を含む支援策は。

<市長 答弁> 行政区の催しに新たな助成は設けていませんが、屋台修理やおはやし継承には一部補助し、国・県の制度活用や申請支援で保存・継承を支援していくことを考えています。



令和6年3・9月議会報告

定例会において、以下の質問を行いました。

■ 通学路の危険箇所の対応について

<山越 質問> 通学路の安全対策を進めているものの事故が続いているため、対策を継続強化し、改善状況を保護者や市民へ報告する必要があるとして、現在の取り組み状況はどうか。

<教育長 答弁> 通学路の危険箇所について協議・点検を行います。主な対策は標示補修や看板設置、パトロールで、対応困難な箇所は安全指導で対応しています。

■ 不登校対策における今後の方向性は

<山越 質問> 不登校対策における支援体制の評価と今後の方針は。

<教育長 答弁> 全校に相談員等、6中学校区にソーシャルワーカーを配置し心理・福祉支援を実施します。利用増を受け配置拡充を要望し、専門職連携で支援体制を強化していきます。



■ クビアカツヤカミキリについて

<山越 質問> 被害を最小限に抑えるために追加対策が必要と考えるが今後の対策は。

<市長 答弁> 広報による注意喚起と情報提供を強化し、拡大状況を踏まえつつ他市の取組を調査研究していきます。

令和7年3月議会報告

定例会において、以下の質問を行いました。

■ 児童・生徒の交通安全について

<山越 質問> 子どもの命を守るため、生活道路で車両速度を抑制するゾーン30の今後の設置計画と、その効果は。

<市長 答弁> 三郷地区区長会からの要望を受け、三郷小学校・第三中学校周辺で令和8年度のゾーン30指定に向け協議を進めています。効果については、全国の整備事例で交通事故件数が23.9%減少しており、一定の事故抑止効果が確認されています。

<山越 質問> 児童・生徒への交通安全教育は。

<教育長 答弁> 学校生活の節目に交通安全を学ぶ機会を設け、警察や交通指導員と連携して指導を行い、子どもたちの安全意識向上を図ります。



■ 本市から本庄間のシャトルバス運行について

<山越 質問> 本庄市までの移動手段の選択肢を増やすことは重要で、交通混雑の解消や利便性の向上が地域経済の活性化につながる。両市のさらなる発展のためにもシャトルバスを導入する考えは。

<市長 答弁> 本市としては、移動の需要や利用者の動向を注視しながら、関係自治体や交通事業者と連携し、最適なバスの運行ルートなど調査研究していきます。

■ 波志江スマートICの周辺開発について

<山越 質問> スマートIC周辺開発は、地域経済の活性化や観光振興に重要であり、大型商業施設の誘致も有力な選択肢の一つと考える。上武国道と北関東自動車道が交わる地点であることを最大限に生かすための今後の展望は。

<市長 答弁> 全市的な視点から周辺環境との調和が図られた土地利用の方向性を検討していきます。

令和7年9月議会報告

定例会において、以下の質問を行いました。

■ 小中学校の設備について

<山越 質問> 誰もが安心して使えるトイレ、いわゆるユニバーサルデザインの視点に立った洋式化を進めることが求められているが、体育館及び屋外トイレの洋式化の現状と今後の整備方針は。

<市長 答弁> 現在、体育館のトイレが和式便器のみの学校は、小学校10校で、中学校は全て洋式化が完了しています。また、屋外トイレが和式便器のみの学校は、小学校で19校、中学校で10校です。今後の整備方針は、大規模な改修を行う際の全面的な洋式化を検討していきますが、避難所としても利用される体育館のトイレは、年次計画を作成し、早期に洋式化を図れるよう取り組んでいきます。

■ ひきこもりに対する支援について

<山越 質問> ひきこもりに悩む本人とその家族を支えるための今後の支援体制は。

<市長 答弁> 相談に当たる職員の資質向上のため、国や県が実施する研修会へ積極的に参加し、相談窓口の充実を図ることとともに、必要に応じて就労準備支援事業などの支援に円滑につながるよう努めていきます。今後も現在の取組を継続し、ひきこもりに対する理解促進と相談窓口や家族会の周知を図り、支援体制の充実に取り組んでいきます。

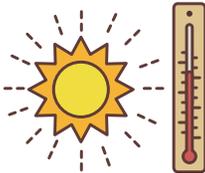
■ 日本一の暑さを生かした地域振興について

<山越 質問> 8月5日、本市は単独で日本最高気温を更新し、本市の知名度を飛躍的に高める絶好の機会を迎えている。一方で、猛暑は市民の健康や生活に深刻な影響を及ぼしているが、対策は。

<市長 答弁> 市有施設の58か所を熱中症予防シェルターとして開所するとともに、いせさき情報メール等で熱中症予防に関する啓発と注意喚起を行なっています。また、環境の日のイベント等の際にグリーンカーテン用の種を配布しているほか、公共施設にも配布し、市全体でグリーンカーテンを推奨しています。今後は、民間事業者への働きかけも行なっていきます。

■ その他の質問

● 外国籍住民の日本語学習について



皆さまの声が私の活動の原点です。ぜひ、皆さまの声をお寄せください。

やまこし清彦 連絡先

〒372-0001 伊勢崎市波志江町177-8
携帯：090-2768-1138 FAX：0270-22-1138
E-mail：kiyohiko@k-yamakoshi.jp

やまこし の情報や過去会報は
やまこし清彦 ホームページへ▶▶▶
<https://www.k-yamakoshi.jp/>

